

おじいちゃん いたまでもお元気で おばあちゃん いたまでもお元気で

9月15日は「敬老の日」です

おじいちゃん、おばあちゃんいたまでもお元気で長生きしてください……と、ことしも9月15日「敬老の日」を中心に各地域で市社会福祉協議会、連合婦人会、町内連合会の皆さんの協力でいろいろな催しが行われます。市では、おとしよりのみなさんが生きがいのある生活を送っていただくために、寿大学の開校をはじめ、社会福祉センター、高年令者職業相談室の開設で再就職を希望しているおとしよりの就職あっせん、悩みごとに困っている相談など老人福祉問題の解決にしんげんに取り組んでいます。

ことし敬老会の該当者は、昭和52年8月1日現在市内に住んでいる人で明治40年9月15日までに生まれた70才以上の人たちです。

市内には70才以上の方は、全部で7,526名、うち男3,133名、女4,393名でこの内訳は70才代5,779名、80才代が1,625名、90才代が120名、100才代が2名となっています。また市の最高年令者は市内今井54番地の1に住

む甲田かめさん（世帯主甲田寿彦さん）で明治8年6月2日生まれの102才と、もう一人は市内伝法2693番地の5に住む神田こうさん（世帯主、稔さん）で、明治8年11月7日生まれの101才の二人です。このほか80才以上の人には敬老祝金として3,000円、88才（米寿の人）80人には肖像画と祝金

8,000円が贈られます。また市内宮町の中川繁蔵(75)さんとなみ(70)さんご夫妻は金婚式(50年)をむかえ市から記念品が贈られます。

なお、寝たきり老人は市内に約300人、各地区の民生委員が市長の慰問文と慰問品をもって訪問することになっています。

おとしよりの健康診査

65才以上の方へ「受診通知書」を

老人のための健康診査を行います。市では老人の健康を守るため、病傷などの早期発見、早期治療を目的に毎年「敬老の日」を中心に健康診査を行っております。

大正元年9月1日生れ以前の方には、市福祉事務所社会課より「受診通知書」が送付されます。

ふだん、健康だと思っている方も、年に1度は健康診査を受けて下さい。とき◎一般診査 昭和52年9月5日より9月22日まで

◎精密診査 昭和52年10月17日より10月29日まで

ところ 市内の医療機関

費用 無料

結果 一般診査により精密検査の必要な方には通知しますが異状のない方には通知しません。

その他 ねたきり老人等、おおむね6カ月以上診療を受けてない方で希望のある方は、市又は地区民生委員に申し出て下さい。

お年寄りには、みんなで親切にいたしましょう

我が富士市はめざましい進歩と向上へ堅実な歩みを見せて人口20万を越える都市にふさわしく活気に満ち、製紙工業の街として国内は勿論世界的に知られるようになりました。商店街は高層ビルが立ち並び時勢美が溢れ飛躍した富士市に目を見張る反面、富士の美を汚して公害汚名で世に知られ、



「私が見た富士市」③

今泉8丁目 小林久子

赤人が歌った、あの澄んだ田子の浦は、もう遠い夢となってしまいました。しかし風光明媚な土地に恵まれた富士市は古くから産業発展へ力を注ぎ、その人々の根性と努力に感銘致します。最近では芸術、娯楽、文芸

等々の活動も実に活発になり、市民の強い情熱を支えてくれる市教育委員会の御尽力のお蔭でより一層豊かな心を育てています。生産の街と併せて文化向上へ大きく夢の輪が広がり日本一の富士山に見つめられ励まされて暮す事のできる富士市は誠に幸せであると思います。